

白いイチゴと父から学んだこと

須崎市立朝ヶ丘中学校3年 馬詰 里心

ある日、我が家に白いイチゴが届いた。きらきら輝く純白のイチゴを初めて目の当たりにした私は、驚きと嬉しさで胸がいっぱいになった。でも、赤いイチゴを買ったはずなのにどうして白いイチゴも入っているんだろうとふと不思議に思った。それを父に聞いてみると、

「このイチゴはふるさと納税の返礼品ながやけど、生産者さんが、送るのが予定より遅くなってしもうたき、そのおわびで白いイチゴをおまけでつけてくれたがよ」

という事だった。この時初めてふるさと納税について身近に感じた。ふるさと納税という言葉は以前から聞いた事はあったが、詳しくは知らなかったので調べてみる事にした。ふるさと納税とは、国民が好きな自治体を選んで寄付ができる制度で、税額控除の額が大きく、なおかつ自治体から返礼品を受け取ることができるため、納税者にとっても自治体や生産者にとっても非常にメリットの大きい制度という事を知った。私の父も海産物の会社を営んでいるので、ふるさと納税を活用しているのではないかと思って話を聞いてみた。すると、本当に活用していて、マグロやイカを始め、井ぶり等を返礼品として届けているそうだ。活用している側としては、一万円の寄付金の場合自分達には三千元、二千元が配送料や運営サイトへの手数料、約半分が市に納税され、自分達にも商品を知ってもらえたり買ってもらえろといった得があるし、市としても最初は二百万円だったのが今や二十億円を超える寄付金が集まりPRにも繋がるといった得がありとても素晴らしい制度であると感じているそうだ。また、利用している側としては、実質二千元負担で様々な地域の特産品を手に入れる事ができるし、サイトによっては、返礼品+ポイントがもらえたりととても嬉しい制度が沢山あるのでこれからもどんどん利用していきたいそうだ。

私達の生活には、消費税や所得税、法人税等沢山の税金が密接に関わっている。税金がある事で公共サービスが利用できたり、学生には必要不可欠な教科書等学習に必要な物が使えている。だから税金は大切だと思うし、私も大人になったらもっとしっかり納税すべきだと思う。また、白いイチゴや父の話から、ふるさと納税を沢山の人が利用する事で、納税額が増えるし、生産者さんの仕事が増えるので、今のコロナ禍で大きな影響を受けている農林漁業者や食品関連事業者等へのダメージが減ると思うし、経済活動がより良く活発になると思う。“ウィズ・コロナ”の為にも誰にでもメリットの大きい納税もしていく必要があると私は考える。

まだ中学生の私にできる事は少ないけど、正しい経済活動や税についての知識を身につけ、大人になった時に上手に活用できるようにしていきたい。